

カリキュラム・教科書・アセスメントコンポーネント

ニュースレター（第36回）

6月に新学期が始まり、無事G3の教科書も配布されました。新カリキュラムが始まって、あっという間に3年目です。

昨年度数回にわたり、実際に新カリキュラムで学んでいる子どもたち、教えている先生たち、保護者の方々、またミャンマーを愛する皆さんはどのように感じているのか聞いてみました！

現場の声を聞きました！

1. 子どもたちの声

がっこうはすきです。
ともだちとあそべるし、せんせいからもたくさんおしえてもらえます。



えをかいたりうたをうたうことがすきです。



2. 先生たちの声

・新カリキュラムで学んでいる子どもたちはとても積極的で、自信を持っている子が多いです。これは、新カリキュラムが、生徒たちが自ら発言したり表現したりすることを手助けするだけでなく、先生たちが子どもたちの考えやアイデアに寄り添えるようなサポートまでしているからということもあると思います。

・特に親御さんたちから新カリキュラムに対する懸念の声は聞こえないです。事前に新カリキュラムに関する説明会を開いて、親御さんたちの理解を促進したことも、功を奏したと思います。（※説明会は学校の自発的な取り組みであり、説明会を開催していない学校も多くあります。）

・音楽、美術、体育などの重要性は理解していますが、例えば音楽の笛などは自分でもできないことが多いので教えるのに苦労しています。このような科目は専門の先生が教えた方が良いと思います。



図工:カラフルな作品たち



ライフスキル:上手く歯磨きできるかな？

3. 保護者の声

・最初は不安でした。新しいカリキュラムでは学ぶ内容が少なく、子どもたちがお絵描きや歌を歌ったりして遊ぶだけだと思っていました。おもしろおかしい活動だけでなく、もっとまじめな勉強をしないと大きくなった時に学力面が遅れてしまうのではないかと。でも娘の様子を見て、今は新カリキュラムが如何に素晴らしいものか、実感しています。英語は進んだ内容を取り入れていますし、算数では暗算もできるようになりました。理科では、実験やアクティビティを通じて、より多くのことを学んでいます。

元気で賢い子どもたち！

1. 「みんなの将来の夢は何？」

筆者（ミャンマーの民族衣装に身に包んだ外国人）が学校を訪問すると、休み時間になったとたん、興味津々に子どもたちが元気に寄ってきます。「みんなの将来の夢は何？」と質問すると、たくさんの手と声が挙がります。「担任の先生のような先生になりたい！」「お医者さんになって困っている人たちを助けたい！」など、小さいながらも立派に夢を持っているようです。



2. 計算が早い！

今までのミャンマーの教科書では、指を折りながら計算する方法を教えていました。しかし、この方法では、足し算引き算でさえ、繰り上がりや繰り下がりがある計算をするのに時間がかかってしまいます。

新しい算数の教科書では、これまでとは異なり、指を使わずに10のかたまりを使って計算する方法を子どもたちに教えています。

教室に入って先生に「子どもたちに実際に問題を解いて欲しい」とお願いしました。黒板に繰り上がりが入る計算式を書き始める先生。子どもたちに「この問題解ける人？」と問いかけると、ためらいなくすぐにたくさんの手が挙がりました。先生に指名されて前に出てきた子どもは、あっという間に正解を出して堂々と席に帰って行きます。手は使っていません！

新しい教科書の成果をまた1つ実感できた瞬間でした。



ミャンマーの週刊誌『Weekly Eleven』に載っていた一般の方のご意見の一部をご紹介します。

- ・保護者のこの新しいカリキュラムに対する理解を促進していくことはとても大切な義務です。
- ・ヤンゴンやマンダレーだけでなく、地方の先生、子どもたち、保護者にもこの改革が行きわたることが大切です。
- ・教育改革は教育を生業とする人々だけの問題ではありません。保護者、子どもたち、そしてミャンマー国民全体が気にかけるべきことです。保護者が積極的にこの改革に関わっていくよう説得していくことが大切です。また、ミャンマー国民が、この新しいカリキュラムでこそ、子どもたちの創造性が育まれるのだということを理解することも大切です。

ミャンマーを愛する皆さんからのフィードバック

CREATE では SNS でも活動紹介をしています。皆さんからの貴重なコメントの一部をご紹介します。

・ Facebook より

いつもミャンマーにご支援頂き有難うございます。新しい教科書の一部をミャンマー教育省のホームページで見ました。私が使っていた教科書と全然異なり、絵がたくさん載っていたり、鮮やかな色合いで子どもはきっと楽しくなると思います。しかし、少し気になったところがありました。ミャンマー語があまり自然ではないと感じました。意味は通じるが、時々しか使っていな

い表現を使っていること等がすごく気になってコメントしました。このプロジェクトが成功するとミャンマーの将来は大きく変わると思います。そのため、もっとミャンマー語の専門家、翻訳者、通訳者などが協力し合ってやれば、より良い教科書になると思います。期待しています。😊

（※ミャンマー語には書き言葉と話し言葉があり、これまでは書物には書き言葉しか使っていませんでしたが、新しい教科書では子どもになじみのある話し言葉も使用しています。新しい試みですが、ミャンマー政府の言語の専門機関の校正を受けるなど、正しくわかりやすい言葉づかいを心がけています。）

・ YouTube より

(親 1):私の息子は、授業中、4人グループで協働作業をしながら勉強をしているみたい。

(親 2):そしたら、あなたの息子さんたちは、ただ勉強ができるだけでなく、自分自身で考えることのできる子どもに育っていきますね。

(親 3):確かに。あの子たち色々な質問をしてくるの。新カリキュラムはそういう力や協調性を育てているのね。

このようなフィードバックはとても貴重ですので、皆さんからのコメントをお待ちしています！

【公式 URL】 <https://createmm.org/en>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/JICA.CREATE.Project/>

【YouTube】 https://www.youtube.com/channel/UC0pW4hIlFEAbZiN_4ez9hRA/featured



以上

文責：小菅 恵理子 (PR 担当)

編集：宮原 光 (PR 担当)